

授業科目名	国際理解と国際貢献	担当教員	◎平山香代子、永井大策、王麗華
必修	開講年次：1年前期	単位：1単位	授業形態：演習 30時間

【授業概要】

アジアと世界の地理や文化を再認識するとともに、急変していく世界、特にアジアの情勢や社会、経済、健康・医療や生活問題点を取り上げて討議し、国際的視野の拡大を図る。また国際貢献活動については、世界の国際保健援助活動を展望し、わが国、とくに日本の医療者や福祉関係者の国際活動やボランティアリズムについての理解を深める。

【授業目的・目標】

1. 世界の地理的知識と文化、人々の生活についての認識を高める。
2. 中国の政治、経済、文化と未来についての理解を深める。
3. 新興国の発展と将来の可能性についての知識を深める。
4. 国際世界の人々の問題や健康、貧困についての知識を深め、世界人としての責任について話し合う。
5. 国際的保健福祉援助活動についての見解と海外におけるボランティアリズムについて討議する。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- | | |
|-----------------------------------|--------|
| [01] 異文化理解と国際看護活動① 文化的存在としての人間の理解 | (平山) |
| [02] 異文化理解と国際看護活動② 異文化体験 | (平山) |
| [03] 異文化理解と国際看護活動③ 文化を考慮した看護 | (平山) |
| [04] アルマアタ宣言とプライマリーヘルスケア | (平山) |
| [05] ヘルス・プロモーション理念の発展と住民参加の保健教育 | (平山) |
| [06] グローバリゼーションと国連開発HDGs・SDGs | (平山) |
| [07] 国際支援活動の課題① 住民参加と健康教育 | (平山) |
| [08] 国際支援活動の課題② 国際看護ボランティア活動 | (平山) |
| [09] 国際支援活動の課題③ 在留外国人療養者への訪問看護 | (平山) |
| [10] 日本の政府開発援助と途上国への技術協力活動の実際① | (永井) |
| [11] 日本の政府開発援助と途上国への技術協力活動の実際② | (平山) |
| [12] 日本の国際貢献 緊急援助隊の活動 | (平山) |
| [13] 中国の医療と看護① | (王) |
| [14] 中国の医療と看護② 演習 | (王・平山) |
| [15] 中国の医療と看護③ 演習 | (王・平山) |

【教科書】

田村やよひ編集 (2015) 新体系看護学全書 看護の統合と実践③ 国際看護学, メヂカルフレンド社

【参考書】

1. デイヴィッド・ワーナ著他 (1998) いのち・開発・NGO, 新評論.
2. 柳澤理子著 (2017) 改訂版 国際看護学 看護の統合と実践 開発途上国への看護実践を踏まえて, PILAR.

【評価方法・評価基準】

小テスト 30% (全6回:5点×6), レポート 30% (全2回:15点×2), 定期試験 40%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習: 授業範囲の教科書や配布資料を読む

事後学習: 教科書や事業資料などの振り返り学習を行う。知識の確認として小テストを実施するの
でテスト対策を行う。

【教育目標 (必須要素) との関連】

この科目は教育目標の必須要素Ⅲ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅳ. ヘルスプロモーションと予防に関する知識と実践能力、Ⅶ. 国際的視野の育成と地域貢献能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

小テストの結果は講義時間内に返却する

課題レポート①: コメントを記載し返却する

課題レポート②:王先生へ提出する

【備考】

異文化を理解し、多様な人々のニーズを掘り起こして看護を行うことの重要性を学び、ダイバーシティに対応できる素養を身につける。